

### Thuidium cymbifolium およびその近似種

井 上 勉

(高 松 高 校)

Thuidium (シノブゴケ属) は、桜井博士の日本の蘚類 (1954) によれば32種、1変種をわが国に産することになっている。これらのうち *T. cymbifolium* (D.M.) Bryol. jav. に近似なものとして *T. paraviride* Sak., *T. Magofukui* Sak., *T. ise-sanctum* Sak., *T. yezoanum* Sak., *T. Philibeltii* Limpr., *T. tetracladioides* Sak., *T. xanthobasis* Sak., *T. cymbifolium* var. *japonicum* (D.M.) Sak., *T. nipponense* Sak., *T. recognitum* Ldb. の9種、1変種があり、この他に同書では *T. cymbifolium* var. *japonicum* の synonym として取扱っている *T. Toyamae* Nog. もこの近似種としてとりあげて検討してみたい。

これらのうち、*T. paraviride* については、先に筆者が原記載および標本 (孫福No.608; 伊勢度会郡中川村シメサス, 1937, Coll. T. Magofuku, Det. K.Sak.) を調べた結果「蘚苔地衣雑報」No.13 (1957) において、*T. cymbifolium* の synonym であることを、また *T. xanthobasis* は原記載および標本 (*T. tetracladioides*, Prov. Mikawa, Dantohara 1945, Coll. N. Takaki. Det. K. Sak.; Prov. Mikawa, Mt. Hongu 1947, Coll. N. Takaki, Det. K. Sak.; *T. xanthobasis*, Prov. Ise. Naigu 1949.) を検討した結果、同雑報No.12 (1957) において、*T. tetracladioides* の var. であることを発表しておいたので、ここではこれら以外のものについて考えて行きたい。

*T. Magofukui* (孫福No.995, 伊勢多気郡荻原村下真手, 1939, Coll. T. Magofuku, Det. K. Sak.), *T. ise-sanctum* (孫福 No.1335, 伊勢外宮, 1949, Coll. T. Magofuku, Det. K. Sak.; No. 1880, 同上; No. 2311, 伊勢神路山, 1950, Coll. T. Magofuku, Det. K. Sak.) は植物体は大形で鮮緑色を呈し、2~3回羽状に分枝する。茎葉は幅広く心ぞう形をし、先端は極めて細長く、中肋は頂下、縦じわあり、基部は赤褐色を呈している。茎葉・枝葉ともにパピラは通常1個ずつ低い、基部近くのパピラはやや高く、彎曲している。側葉は極めて多く密に樹状に分枝するなど *T. cymbifolium* との差異は見られない。

*T. yezoanum* (孫福No.2550, 伊勢度会郡大杉谷村, 1950, Coll. T. Magofuku, Det. K. Sak.; 高木No.5224, 三河田口, 1947, Coll. N. Takaki, Det. K. Sak.) は 莖葉・枝葉ともにパピラが前記の3種に比して高い点以外は差異が見られない。

以上のことより, *T. Magofukui* と *T. ise-sanctum* とは新たに *T. cymbifolium* の synonym とし, *T. yezoanum* は *T. cymbifolium* の var. とするのが適当と考える。

*T. Philibertii* は *T. cymbifolium* に近いがパピラはしばしば1~3個ある。

*T. tetracladioides* は 莖葉の先端が *T. cymbifolium* ほど細長くはならないほか, 莖葉基部が帯色すること, パピラの状態などは *T. cymbifolium* に近い。

*T. recognitum* は 莖葉の先端は *T. cymbifolium* と *T. tetracladioides* との間ぐらいの長さを持ち, 中肋がほとんど頂に達しており, 葉の基部は帯色しない。

*T. japonicum* は先に述べたように, 桜井博士は *T. cymbifolium* の var. としておられるが, 莖葉基部が帯色しないこと, パピラがしばしば1~3個あることなどより別種として扱うのが適当と考えられる。

*T. japonicum* と *T. Toyamae* については, *T. japonicum* は原記載によると 雌苞葉に毛がないようになっているが, その後この点以外では全く同じものが多く採集されているが, 何れも毛を有することより野口博士が *T. Toyamae* (Miyazaki, Minaminaka, Obi, (1947), Coll. S. Hattori et T. Kurata, Det. A. Noguchi) を新設された。現在では *T. japonicum* の原標本 (Leydenにあるといわれている。) を見るのが困難であり, もし将来, 原標本を見る機会があり, 毛が実際になれば両種はともに生きてくるし, もし毛があるとか, あるいは脱落したということが分れば *T. japonicum* の記載を訂正して *T. Toyamae* を synonym にするようになると考えられるので, 今までは *T. japonicum* は原標本1点のみで, ふうつうわれわれが *T. japonicum* と考えていたものは *T. Toyamae* として扱ってきたが, 最近, 桜井博士の *T. nipponense* (高木No.2512, 肥後菊池水源深葉山, 1946) を検討したところ *T. Toyamae* と同じであることが分ったので *T. nipponense* を生かし *T. Toyamae* をこの synonym として, *T. japonicum* は当分そのままとしておくことにする。

そこで *T. cymbifolium* およびその近似種の学名を一部次のように整理する。

*T. cymbifolium* (D.M.) Bryol. jav. II (1865)

Syn. *T. Magofukui* Sak. in Bot. Mag. Tokyo, Vol. 57. (1943)—Syn. nov.

*T. ise-sanctum* Sak. in Bot. Mag. Tokyo, Vol. 57. (1943)—Syn. nov.

*T. paraviride* Sak. in Bot. Mag. Tokyo, Vol. 57. (1943)

*T. cymbifolium* (D.M.) Bryol. jav. var. *yezoanum* (Sak.) Inouye

Syn. *T. yezoanum* Sak. in Bot. Mag. Tokyo, Vol. 60 (1947)—Stat. nov.

*T. Philibertii* Limpr. in Bryol. eur. Fasc. 49~51 (1852)

*T. tetracladioides* Sak. in Bot. Mag. Tokyo, Vol. 60 (1947)

*T. tetracladioides* Sak. var. *xanthobasis* (Sak.) Inouye

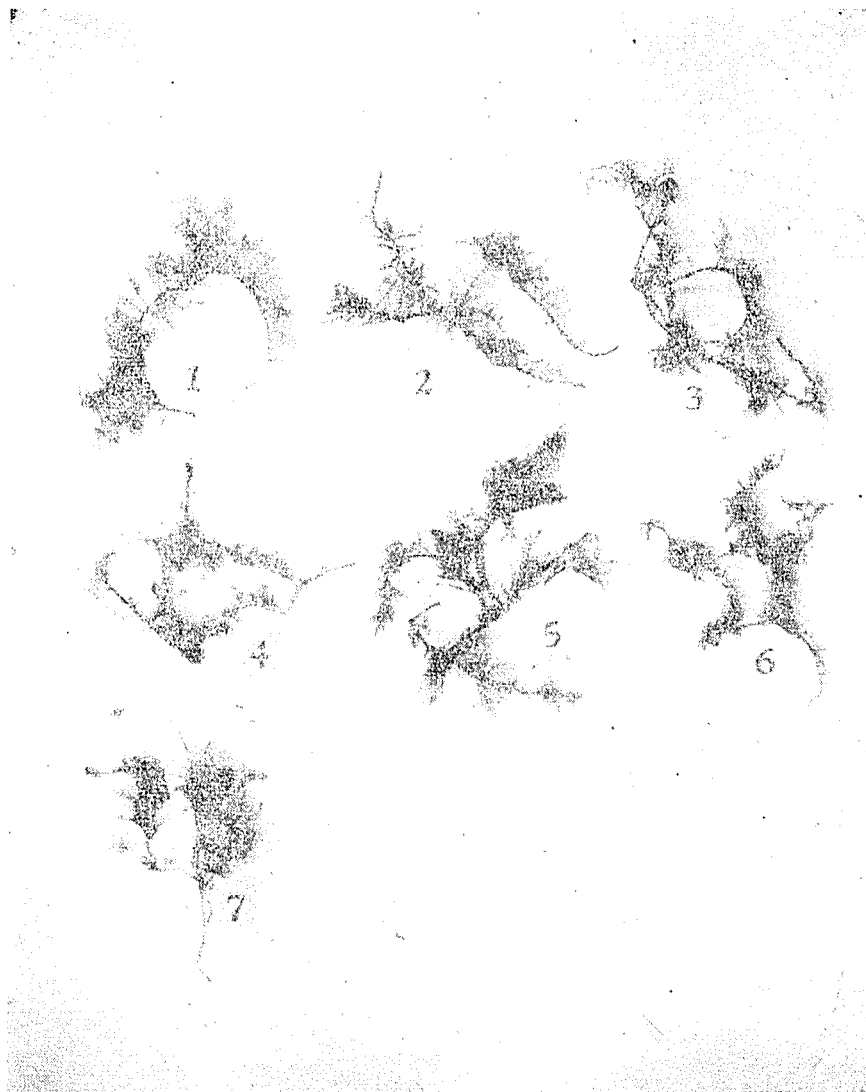
Syn. *T. xanthobasis* Sak. in Bot. Mag. Tokyo, Vol. 64 (1951)

*T. recognitum* Ldb. in Acta Soc. Sci Fenn, (1872)

*T. japonicum* D.M. in Ann. Mus. bot. Lugdum Batav. II.

*T. nipponense* Sak. in Bot. Mag. Tokyo, Vol. 60 (1947)

Syn. *T. Toyamae* Nog. in Journ. Jap. Bot. 24 (1949)—Syn. nov.



1. *T. cymbifolium* ( $\times \frac{1}{2}$ )
2. *T. cymbifolium* var. *yezoanum* ( $\times \frac{1}{2}$ )
3. *T. Philibertii* ( $\times \frac{1}{2}$ )
4. *T. tetracladioides* ( $\times \frac{1}{2}$ )
5. *T. tetracladioides* var. *xanthobasis* ( $\times \frac{1}{2}$ )
6. *T. recognitum* ( $\times \frac{1}{2}$ )
7. *T. nipponense* ( $\times \frac{1}{2}$ )